

長者ヶ原廃寺跡（衣川区）



①ガイドツアーの様子 ②遺跡で見つけた築地塀を復元したもの ③遺跡の全景

約1000年前に建てられた寺院跡。型枠に土を入れて突き固めてつくる土塀「築地塀」の跡があり、格式の高い寺院と推測される。商人の金売吉次屋敷跡という言い伝えも。本堂と南門を結ぶ南の方向には、中尊寺が鎮座する関山の最高点がある。本堂の東には当時の桜の名所「束稲山」があり、眺望に工夫がされている。

の努力が報われ、東北地方太平洋沖地震の復興に向けて踏み出すきっかけとなるもの。登録に至らなかった資産も、平泉の文化遺産としての価値は変わらず、国・県の指導を受けてさらに調査研究を進め、追加登録に向けて努力したい」とコメントを発表しました。

追加登録のためには、世界に類のないものとしてあらためて価値をまとめる必要があります。市は追加登録を目指す資産を持つ平泉町、一関市と手を携えながら、まずは追加登録の前段階である暫定リスト入りを目指し、調査・研究を積み重ねていきます。また、遺跡の価値を損なわず、より良い景観となるよう、世界遺産にふさわしいまちづくりを進めます。

市世界遺産登録候補地ガイドの辻村由起子さんは「私は関東出身ですが、鎌倉以前の歴史がある奥州市は、歴史も遺跡も知るほどに面白い。皆さんにもぜひ知らせたい」と本市の魅力を語ります。世界遺産とは、貴重な遺跡を保護し受け継いでいくためのもの――。私たちが郷土を知り、誇りを持つことが、追加登録に向けた何よりの推進力になります。まちに伝わる文化や歴史を学び、みんなで一緒にこのすばらしい価値を伝えていきましょう。

■世界遺産に関連する遺跡



■世界遺産に関連する催し

期 日	場 所	内 容
9月3日(日)	市文化会館 (Zホール)	「平泉世界文化遺産登録記念&東北復興祈願」 瀬戸内寂聴講演会、 山田俊和中尊寺貫首との公開対談
9月24日(土) 25日(日)	平泉町内	「平泉世界文化遺産登録&東北復興祈願イベント」 県内郷土芸能の共演、 東北おいしいもの大集合（B級グルメなど）
9月18日(日) ～ 11月13日(日)	平泉町・ 奥州市内	「奥州史跡巡回バス『奥州藤原ロマン号』運行」 平泉町と奥州市内の遺跡や社寺などを、 講師の解説つきで巡る1日バスコース (大人2,000円)

白鳥館遺跡（前沢区）



①遺跡の全景（中央） ②遺跡を巡る順路は住民が整備 ③昨年の発掘調査報告会の様子

半島状に突き出た丘陵に、10世紀には集落、14世紀後半には城館が整備された。15世紀には、敵が攻めにくいように深い堀や土を盛った土塁が造られ、今もその跡が確認できる。昨年の発掘調査では、丘陵の南西の平地（現在は水田）から鍛冶場跡や水晶の数珠玉が見つかり、川湊の可能性が高まっている。

追加登録を目指す市の遺跡

前沢区白鳥地内にある「白鳥館遺跡」は、蛇行する北上川に半島状に突き出た丘陵上にある遺跡です。白鳥の地は、南北を往来する主要道の通過点で、経済・軍事上の重要拠点。白鳥館は、川を利用した人や物資の運搬も盛んな川湊として、平泉の繁栄を支えた場所であった可能性がります。遺跡周辺には今も民家が残り、子どもたちが山遊びをするなど、親しまれています。

追加登録へ向けて

小沢昌記市長は6月26日、平泉の世界遺産登録の一報を受けて「多くの努力が報われ、東北地方太平洋沖地震の復興に向けて踏み出すきっかけとなるもの。登録に至らなかった資産も、平泉の文化遺産としての価値は変わらず、国・県の指導を受けてさらに調査研究を進め、追加登録に向けて努力したい」とコメントを発表しました。

追加登録のためには、世界に類のないものとしてあらためて価値をまとめる必要があります。市は追加登録を目指す資産を持つ平泉町、一関市と手を携えながら、まずは追加登録の前段階である暫定リスト入りを目指し、調査・研究を積み重ねていきます。また、遺跡の価値を損なわず、より良い景観となるよう、世界遺産にふさわしいまちづくりを進めます。

市世界遺産登録候補地ガイドの辻村由起子さんは「私は関東出身ですが、鎌倉以前の歴史がある奥州市は、歴史も遺跡も知るほどに面白い。皆さんにもぜひ知らせたい」と本市の魅力を語ります。世界遺産とは、貴重な遺跡を保護し受け継いでいくためのもの――。私たちが郷土を知り、誇りを持つことが、追加登録に向けた何よりの推進力になります。まちに伝わる文化や歴史を学び、みんなで一緒にこのすばらしい価値を伝えていきましょう。



追加登録へ向けて

小沢昌記市長は6月26日、平泉の世界遺産登録の一報を受けて「多くの努力が報われ、東北地方太平洋沖地震の復興に向けて踏み出すきっかけとなるもの。登録に至らなかった資産も、平泉の文化遺産としての価値は変わらず、国・県の指導を受けてさらに調査研究を進め、追加登録に向けて努力したい」とコメントを発表しました。

追加登録のためには、世界に類のないものとしてあらためて価値をまとめる必要があります。市は追加登録を目指す資産を持つ平泉町、一関市と手を携えながら、まずは追加登録の前段階である暫定リスト入りを目指し、調査・研究を積み重ねていきます。また、遺跡の価値を損なわず、より良い景観となるよう、世界遺産にふさわしいまちづくりを進めます。

市世界遺産登録候補地ガイドの辻村由起子さんは「私は関東出身ですが、鎌倉以前の歴史がある奥州市は、歴史も遺跡も知るほどに面白い。皆さんにもぜひ知らせたい」と本市の魅力を語ります。世界遺産とは、貴重な遺跡を保護し受け継いでいくためのもの――。私たちが郷土を知り、誇りを持つことが、追加登録に向けた何よりの推進力になります。まちに伝わる文化や歴史を学び、みんなで一緒にこのすばらしい価値を伝えていきましょう。

世界遺産登録候補地ガイドの会
得意分野は、歴史や草木などさまざまです。何度でもご利用ください。
■問い合わせ＝世界遺産登録推進室（前沢総合支所内線 312）

市世界遺産登録候補地ガイドの会会長
大内浩生さん (72)

ガイドの会は、毎週土日に市内の2つの遺跡に常駐しています。ガイド利用者は歴史好きな人も多く、私たちも日々勉強しています。

平泉が世界遺産に登録されて、県南地域に宝ができました。市の遺跡も追加登録を目指し、PRに力を入れたいものです。

会は、ことしも史跡巡回バスのガイドをする予定です。イベントなども企画して、さらに盛り上げたいと考えています。衣川の遺跡を中心に、散策やサイクリングのコースを作る構想もあります。期待してください。

白鳥館遺跡は広く、1時間ほどかけて散策するとより楽しめます。春は菜の花と山野草、夏はウバユリの大群と自然も豊かです。事前予約で平日もご案内します。お気軽にご利用ください。